

半田市立半田病院看護教育要綱

育成委員会

対象	研修名	目的	目標	研修方法	期待する成果
ラ ダ ー I 1	新入職者オリエンテーション	1 半田市職員および半田病院の職員としての認識をもつ 2 看護師としての基本的な心構えを養い組織の一員としての自覚を高める	1 公務員としての心得を理解し行動できる 2 半田病院および看護局の概要を知り看護職として業務遂行の為の知識、技術、態度を理解する 3 他部門との関連を理解し円滑な人間関係を築き業務ができる	・集合教育 ・グループワーク	社会人として、看護師として自覚がもてる
	新人看護職員研修	1 安全で安心な看護を提供するために、社会人及び専門職として必要な知識・技術・態度・職業倫理を身に付け、基本的な看護実践能力を獲得する 2 厚生労働省「新人看護職員研修到達目標」に準じた到達目標・習得方法・評価を含み、基礎看護技術の獲得・向上を目指す	1 新人看護職員臨床研修マニュアル参照	・新人看護職員臨床研修マニュアル参照	新人看護師に必要な基礎的な知識・技術・態度を習得できる
	新人看護師研修会(前期)	1 スムーズに職場に適應できるように、看護師としての判断の考え方を学ぶ 2 臨床に必要な知識・技術を習得する	1 新人看護職員臨床研修を振り返り、多重課題時の対応方法を学ぶ 2 臨床に必要な知識・技術を習得し、患者の安全・安楽につなげることができる	<AM> ・ロールプレイ「多重課題時の対応」 ・グループワーク「シャドウ研修・ロールプレイ」を行って、学んだこと・感じたこと <PM> ・インスリンを含む血糖降下薬の基礎知識 ・褥瘡の基礎知識 ・摂食嚥下看護	報告・連絡・相談の重要性が理解でき、責任ある行動が取れる
	新人看護師研修会(後期)	1 チームメンバーの役割を認識する 2 急変・救急時の対応を学ぶ	1 チームメンバーの役割が認識でき、役割に沿った行動ができる 2 事例をもとに、急変・救急時の対応ができる	<AM> ・グループワーク「チームメンバーの役割」 ・「104項目の中間評価を受けての自己評価」 <PM>・急変・救急時の看護、ロールプレイ	チームメンバーの一員として責任ある行動が取れる急変・救急時の対応を学び、指導を受けながら実践に繋げることが出来る
	症状別看護	1 症状に合わせた看護実践が理解できる	1 臨床での看護ケアに役立てることができる	月1回 各症状別看護講義 ・救急時(BLS実践)・救急時(知識)・胸痛時・頭痛時・看護倫理・腹痛時・呼吸困難時・意識障害時・終末期・災害看護	各部署共通する基本的な症状別看護について理解し、看護に活かすことができる
I 2	実践した看護を振り返って	1 実践した看護を振り返り、気づきを得る	1 日々の看護実践における自己の看護を振り返る 2 自分の目指す看護師像について考える事ができる 3 ある一つの看護場面を振り返る	・実践した看護を振り返って発表する	気づきから、看護を進展できる
	新プリセプター研修会	1 プリセプターの役割を理解できる	1 プリセプターシップを理解し新人教育の実践に役立てる	・講義 ・グループワーク	指導者としての心構えを育み、新人指導に活かすことができる
II	事例検討発表会	1 看護過程の展開ができる	1 患者の個性をとらえた看護過程の展開ができる	・自分の受け持った患者の看護展開を事例としてまとめ発表する	個別性を踏まえた看護展開ができる
	プリセプター研修会	1 新人指導上の問題点を明らかにし解決の方法を見出すことができる	1 新人指導を行って指導上の問題点及び悩みを抽出し今後の指導に役立てる	・講義 ・グループワーク	指導を通し課題を見つけ、今後の成長に繋げることができる
	アソシエイト研修会	1 プリセプターが、新人の受け入れをスムーズにする	1 アソシエイトの役割認識ができる 2 プリセプターへの関わりがわかる 3 新人看護師が職場に適應できる具体的な援助がわかる	・講義 ・グループワーク	役割認識ができ、プリセプティが目標達成できるようにプリセプターと共に援助できる
	臨地実習指導者研修会	1 臨地実習指導者としての役割を認識し、臨床において効果的な学生指導方法を学ぶ	1 看護教育活動における臨地実習指導の位置付けを理解し、看護教育活動に活用できる能力を養う 2 臨地実習指導の場面で学生との関わりを通し、学生の特性に合った効果的な指導ができる 3 自分自身の看護教育観を深め、看護教育に貢献できる人材となる	・年2回 ・1回目:講義(院外講師)実習要綱について、研修後課題レポート提出、4ヵ月後に課題について中間評価を各部署にて実施 ・2回目:講義・グループワーク、課題評価レポートの提出	役割認識を明確に持ち、実習指導要綱に沿った、効果的な指導が出来る共に育ち合う意識を高め、後輩育成の視点でその育成に貢献する
	夏期セミナー(リーダーシップ)研修会	1 中堅看護師の役割を認識してリーダーシップを考える 2 KJ法を理解する	1 自分の置かれている立場でのリーダーシップを理解することができる 2 リーダーとしての役割を果たす為の行動目標を見出すことができる 3 参加者間のコミュニケーションを取り親睦が図れる	・テーマ「リーダーシップについて」事前レポート提出 ・講義(院外講師) ・グループワーク	リーダーシップについて理解し、課題に沿って行動する事ができるKJ法を習得する
	夏期セミナーフォロー研修	1 夏期セミナー参加後、設定した自己の行動目標を評価する	1 自己の行動目標を評価することにより、今後の活動に活かす	・実践評価レポート(事前提出) ・講義、グループワーク	自己のリーダーシップが発揮できる
	看護観発表	1 自分の看護観を明確にする	1 4年間の看護実践を振り返り看護の役割モデルとされるような場面をまとめる	・当日レポート提出 ・看護観発表	自分の看護観を語る事ができる
II 以上	キャリアアップ研修会	1 成長志向な態度を維持する	1 自分のキャリアを自覚し看護実践が発揮できる	・グループワーク ・研修後レポート提出 ・8ヵ月後評価レポート提出	キャリアアップに対する向上心がもてる
	災害看護研修会I	1 災害拠点病院職員としての認識を持つ 2 災害時に自部署においてリーダーシップを発揮する	1 災害拠点病院の役割が理解できる 2 災害時の院内体制についてわかる 3 災害について基礎的な知識が理解できる 4 ファーストエイドが習得できる 5 エアーストレッチャー担架の使用法が習得できる 6 院内認定看護師と協力し、自部署での災害対策に取り組むことができる	・講義 ・シミュレーション(ペーパー含む) ・研修後自部署の災害訓練の計画書提出	自部署での災害訓練計画を立案し、災害時に自部署においてリーダーシップが発揮できる * I・II受講後、院内認定受講へつなげる
	災害看護研修会II	1 集団災害時の初期対応がわかる 2 集団災害時の組織的対応がわかる 3 担当エリアの役割がわかる	1 各エリアの役割がわかる 2 トリアージの意義と方法がわかり、トリアージタグの使用ができる	・講義 ・グループワーク ・災害訓練計画評価提出	担当エリアでの役割がわかり、病棟全スタッフへ周知する事ができる
III	ホープナース研修会	1 ジェネラリスト看護師としてリーダーシップを発揮する	1 ジェネラルな看護を提供できる能力を発揮する 2 経験値を生かし、看護実践者のモデルとなる	・講義(院外講師) ・研修後レポート提出	ジェネラリスト看護師としての自覚を持ち、行動変容ができる
IV	リーダー看護師研修会	1 リーダー看護師としての役割を認識し中間管理職の業務を理解する	1 看護局、自部署のSWOT・BSCを基にリーダー看護師の役割を考える事ができる 2 リーダー看護師としての課題を明確にし、具体的な行動目標を立てる	・講義 ・グループワーク ・課題レポート提出 ・8ヵ月後評価レポート提出	課長・看護長とともに、組織運営に関わり、自己の役割を遂行する事ができる
看護職員	臨時看護職員研修会	1 当院看護職員に必要なとされる基本的看護知識や看護に関する最新の動向を得る 2 臨時看護職員の帰属意識を確保する	1 受講者のニーズに合わせた目標・内容とする	・講義他	最新の看護知識や技術を学び、看護に活かすことができる
課 長 ・ 看 護 手	課長・看護長合同研修会	1 看護に求められるニーズに応えられるために質の高い看護が提供できるようマネジメント能力を養う	1 研修参加者が情報提供し、情報を共有できる 2 年度毎にテーマを決めグループワークを通してテーマの意義、実践方法がわかる 3 実践計画を立案し1年間実践し評価できる	・年2回 10月・2月 ・研修参加者の報告 ・グループワーク ・看護管理実践報告	情報交換・共有することで、管理能力を高めることができる
看護 手	看護助手研修会	1 看護チームの一員としての役割を理解する	1 看護助手業務内容の知識・技術を習得する 2 看護助手リーダーとしての役割を学び、実践に活かす 3 看護助手スタッフの役割を理解し、実践に活かす	・年2回(リーダー・スタッフ) ・講義・実技	看護チームの一員としての役割を理解し、協働することができる
看護 職員 全 員	看護研究発表会	1 臨床看護研究を通して看護の質の向上に寄与する	1 基本的な研究過程を修得する 2 各部署及び各委員会活動での看護実践や研究の成果を発表する 3 発表内容を客観的に評価する能力を養う	・発表会 年2回 6月・10月 ・10月 外部講師による講演 ・院外発表時、この発表会もしくは学会・研修報告会で事前発表する	
	学会・研修報告会	1 学会及び研修会に参加した学びを共有する	1 学会や研修会の学び目標などを要約し伝達する 2 意見交換を図り実践可能な内容を見出す	・発表会 年3回 6・10月・2月	

平成28年4月改訂